

平成29年度 全国中学校体育大会
第39回 全国中学校軟式野球大会 出場校紹介

東海ブロック 第2位	ふりがな 学校名	あいちけんみよししりつみなみちゅうがっこう 愛知県	みよし市立南中学校
チームの戦力分析			
1 投手について			
<p>エースで主将朝岡を中心に、個性派の投手が多いため、その日の状態や展開によって登板する投手を決めている。軟投派の橋口に加え、本格派の山中、クセ球で勝負する斉藤が復調し、楽しみな戦いができそうである。</p>			
2 守備について			
<p>守備をモットーにしているチームであり、守備からリズムを作り、攻撃につなげたい。地区大会前に守備位置の変更を行い、まだまだ不安定な部分もある。打者に応じたポジショニングや流れを予測した攻撃的な守備を展開したい。投手陣は安定感のある内野陣をバックに打たせてとる投球を目指したい。</p>			
3 攻撃について			
<p>春先まではサインプレーや走塁などにミスが目立ち、なかなか得点につながらなかったが、チームで課題を見つめ直し、重点的に練習したことで徐々に得点力が向上した。大きな爆発力はないものの、1点ずつを積み重ねていくのが本チームのスタイルであり、選手個々が自らの役割を認識して、打線として機能することを目指している。</p>			
4 チームの特徴			
<p>チームワークのよさと勢いはどこにも負けないと自負している。普段の生活から仲がよく、結束力が強い。儀式と呼んでいる試合前のルーティーンワークは心の支えとなっており、これを楽しみながら思い切ってやりきることで勢いに乗って勝利につながっている。技術力も能力も決して高くはなく、スーパースターと呼ばれる選手はいないが、全員の力を合わせることでこの大会でもみよし南旋風を巻き起こしたい。</p>			
5 全国中学校軟式野球大会出場回数		1 回目	
6 チーム成績(練習試合を含む)		50 勝 6 敗 0 分	
7 本大会までの軌跡(大会ごとに対戦相手とスコアを記入してください)			
豊田・みよし 大会			西三河 地区大会
回戦	スコア	対戦校	回戦
2回戦	5-0	豊南中	1回戦
3回戦	8-0	朝日丘中	2回戦
準決勝	5-1	高岡中	3回戦
決勝	5-2	末野原中	順位決定戦
			8-3
			幸田南部中
都道府県大会			ブロック大会
回戦	スコア	対戦校	回戦
1回戦	2-0	大府中	1回戦
2回戦	4-2	高針台中	準決勝
準決勝	3-2	刈谷東中	決勝
決勝	3-6	朝日中	2-0
			旭ヶ丘中
			5-0
			静岡南中
			1-2
			朝日中
8 学校紹介(開会式のアナウンスの参考にさせていただきます)			
<p>愛知県みよし市は、自動車生産で有名な豊田市に隣接し、カヌー競技、柿・梨・ぶどうの産地として有名な街です。本校は全校生徒404名、市で4校ある中学校の3番目に設立された学校で、今年で34年目を迎えました。入学式や卒業式では、開校を記念して寄贈された刀剣(槍)に掲げられた校旗を登壇させ、厳かに式を始めます。また、「あいさつ日本一」の学校を目指したあいさつ運動や誇りをもって校歌を歌うための「校歌強化運動」など、活発に生徒会活動が行われています。</p>			
9 主将の抱負			
<p>このチームの目標であった全国大会出場を果たすことができました。地区大会からの大会の中では会場運営して下さった先生方や応援してくれた保護者など、本当に多くの支えがありました。大好きな野球が思う存分やれるのはこうした多くの人の見えない支えがあるからだ実感しました。この全国大会では一生懸命に戦うことで、そうした全ての人たちへの恩返しをしたいと考えています。また、全国から集まった中学校球児たちと熱い戦いをする中で野球を通じて交流できることを喜びとして東海地区の思いを背負って戦いたいと思います。</p>			